

発表データの作成要領

【PowerPoint2019 で作成する場合】

優秀発表賞にエントリーする場合は**ナレーション付き動画ファイル**を、エントリーしない場合は**スライド説明文付きPDF ファイル**を、以下の方法で作成してください

ナレーション付き動画ファイルの作成方法

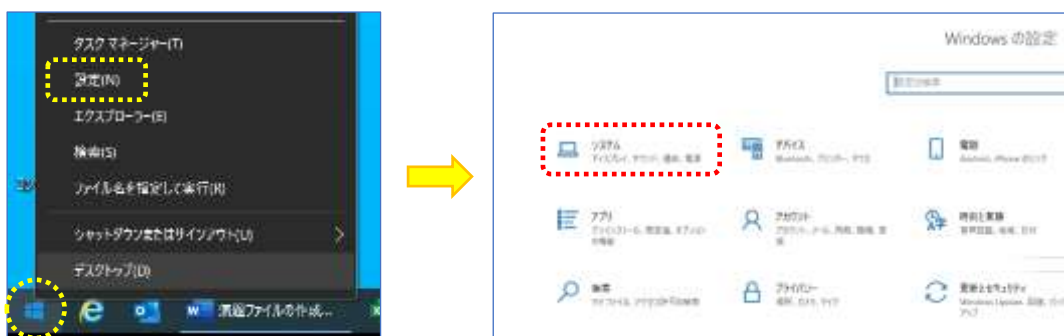
1. PowerPoint で発表原稿を作成します

- * 発表（スライドショー）時間が **9分以内（8分59秒まで）**、動画ファイルの容量が **1GB 以内**に収まるように、スライド枚数やナレーション時間を調整してください
- * アニメーションの使用はできるだけ控えてください

2. ナレーションを録音します

- * ノイズ（周囲の雑音）が入らないように、外付けマイクの使用をお勧めします
- * マイク接続の確認方法

① デスクトップ左下のウィンドウズアイコン（右クリック）から「設定」⇒「システム」をクリック



② 「サウンド」をクリックし、“入力デバイス”の欄で、使用するマイクが選択されていることを確認します



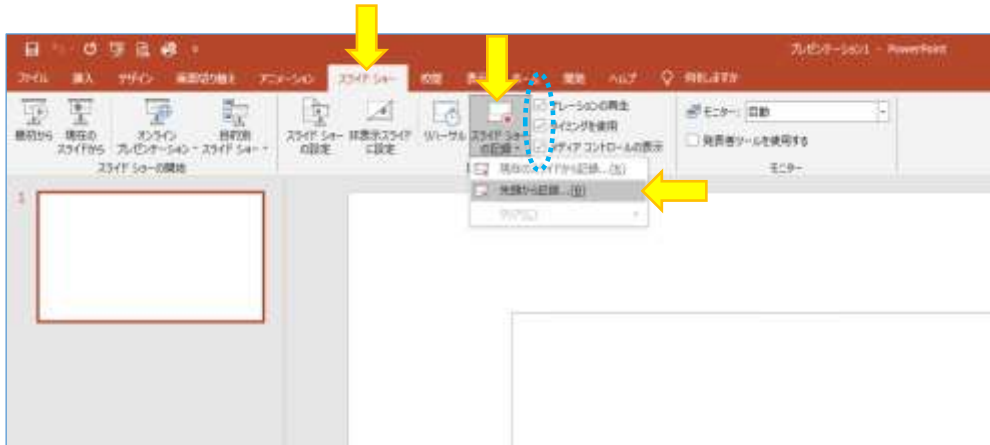
(1) 1. で作成した PowerPoint ファイルを開きます

(2) 画面上部の「スライドショー」をクリックします

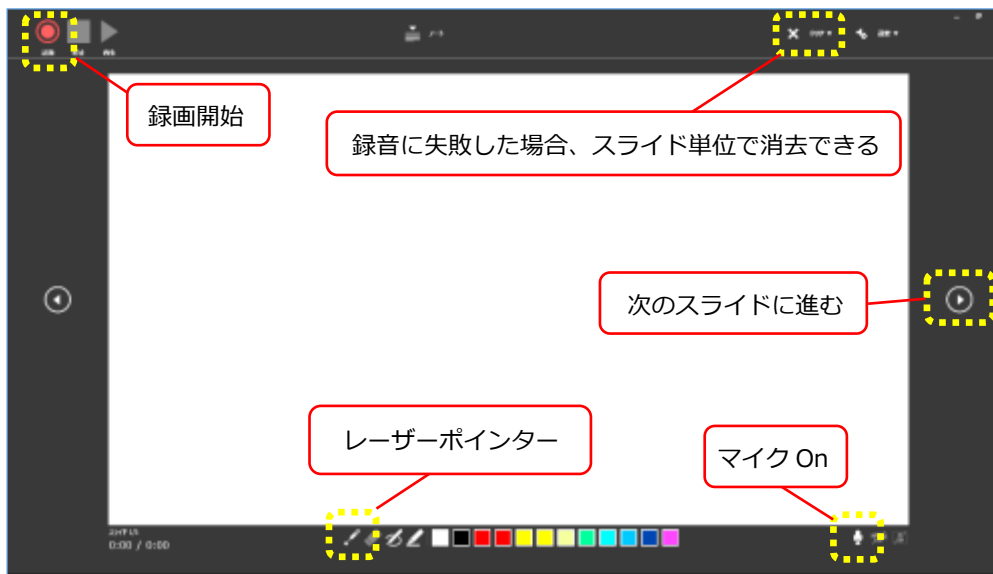
(3) 「スライドショーの記録」をクリックします

* 右の「ナレーションの再生、タイミングを使用、メディアコントロールの表示」の全てにチェックが入っていることを確認します

(4) 「先頭から記録」を選択します



(5) 画面右下のマイクのアイコンが白（On の状態）になっていることを確認します



(6) 画面左上の「記録」をクリックして録音を開始します

* カウントダウンの表示が消えたら開始します

* スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを入れます。スライド切替時に音声途切れるため、次のスライドが表示されたら一呼吸置いて話し始めます

* “レーザーポインター”はマウスで操作します

(7) 最後のスライドが終了したら、「記録」ボタンの右の「停止」をクリックして完了です

(8) 「停止」ボタンの右の「再生」をクリックしてナレーションの内容をチェックします

* 録音をやり直したいスライドがあった場合

- ① 再録音するスライドを表示し、画面上の「× クリア」をクリック
- ② 「現在のスライドの録音をクリア」をクリック
- ③ 画面左上の「記録」をクリックして、再録音します



- (9) 画面右上端上の「×」をクリックして、録音画面を閉じます
- (10) 画面上部の「表示」⇒「スライド一覧」をクリックします



- (11) 各スライドの右下に録音時間が表示されていることを確認します



- (12) 作成した PowerPoint ファイルを保存します

3. 動画ファイルを作成します

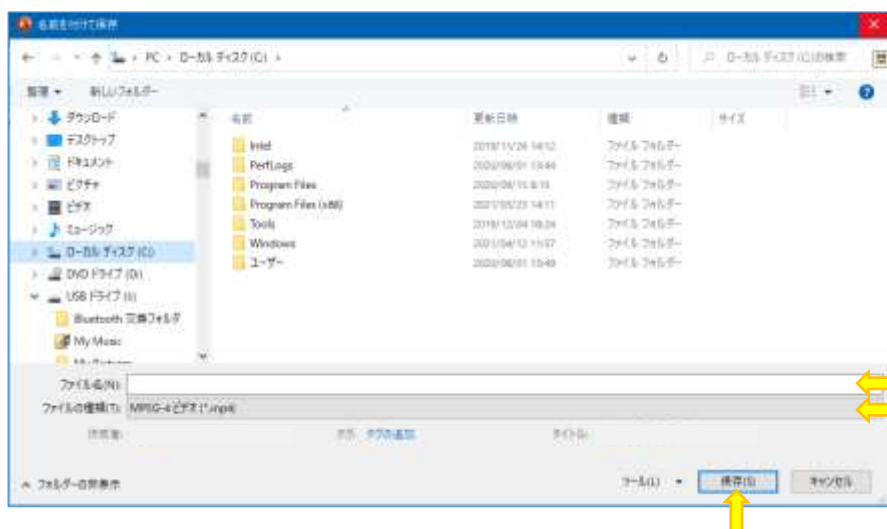
- (1) 2. で作成したファイルを開きます
- (2) 画面上部の「ファイル」をクリックします
- (3) 「エクスポート」⇒「ビデオの作成」の順にクリックします
- (4) ファイルサイズは「HD (720p)」を選択します
- (5) 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」が選択されていることを確認します
- (6) 「ビデオの作成」をクリックします



(7) ファイル名を『演題番号_発表者氏名』として入力し、ファイルの種類で「MPEG-4 ビデオ(*.mp4)」を選択します

(8) 「保存」をクリックすると下部にバーが表示され、変換が開始されます

* 動画への変換には時間がかかります



(9) 作成された動画ファイルの再生時間が9分以内（8分59秒まで）、ファイル容量が1GB以内であることを確認します

4. 作成した動画ファイルを登録します

* 9月中旬に登録用のURLをメールでお知らせしますので、下記の期間中に登録を完了してください

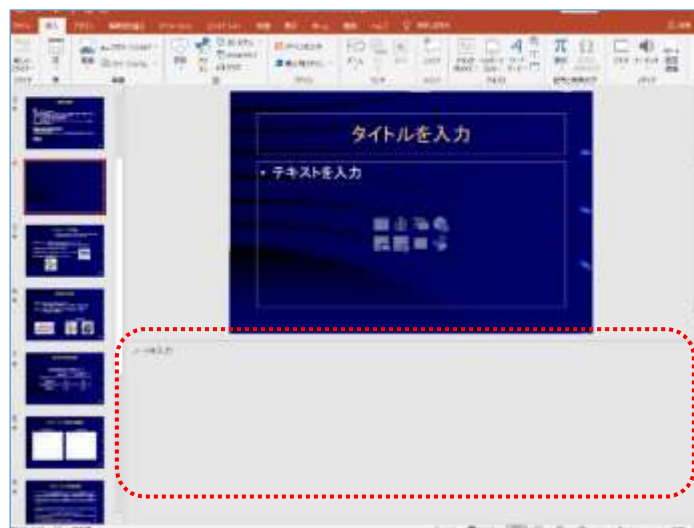
登録期間：9月17日（金）～30日（木）（厳守）

スライド説明文付き PDF ファイルの作成方法

1. PowerPoint で発表原稿を作成します

* スライドの枚数は、**表題ページを含めて 10 枚程度**とします

- ① 各スライドの下の「ノート」欄に説明文を入力します



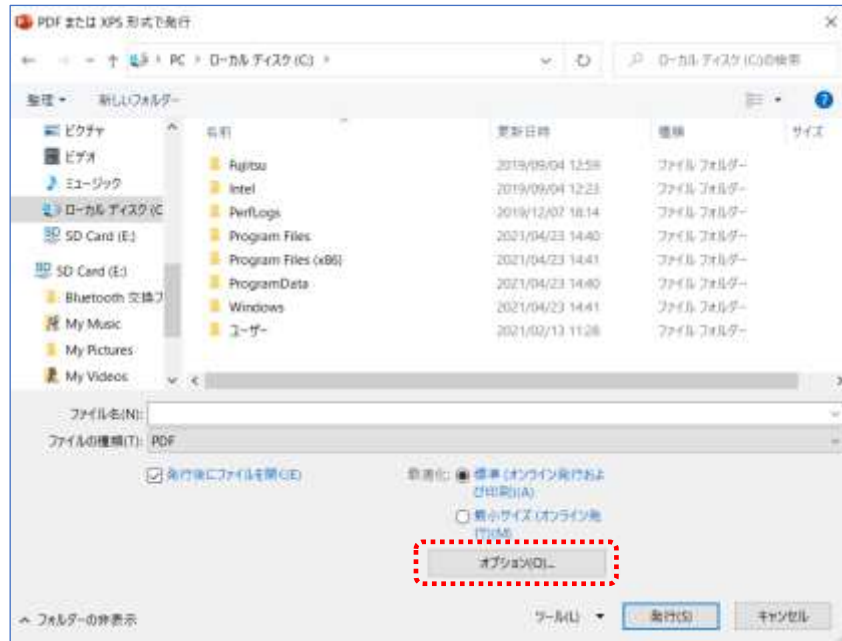
- ② 作成した PowerPoint ファイルを保存します

2. PDF ファイルを作成します

- (1) 1. で作成したファイルを開きます
- (2) 画面上部の「ファイル」をクリックします
- (3) 「エクスポート」⇒「PDF/XPS ドキュメントの作成」の順にクリックします
- (4) 「PDF/XPS の作成」をクリックします

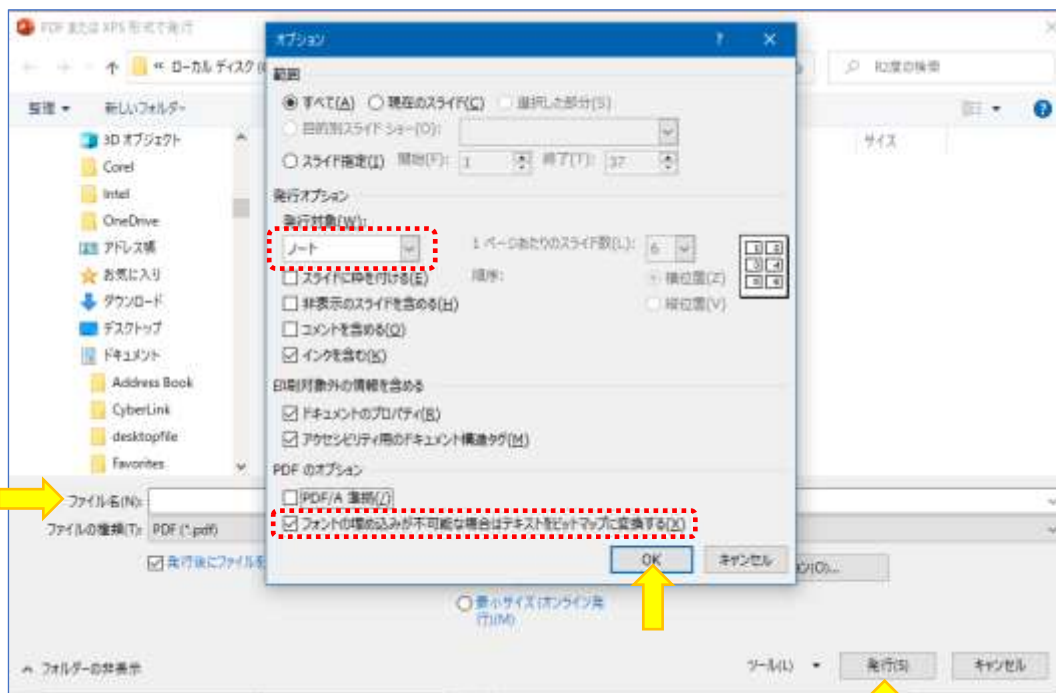


- (5) 「オプション」をクリックします



(6) オプション画面の“発行対象(W)”で「ノート」を選択します

(7) “PDF のオプション”で「フォントの埋め込みが不可能な場合はテキストをビットマップに変換する(X)」にチェックを入れ、「OK」をクリックします



(8) ファイル名を『演題番号_発表者氏名』として入力し「発行」をクリックします

(9) スライドの枚数が表題ページを含めて 10 枚程度であることを確認します

3. 作成した PDF ファイルを登録します

* 9 月中旬に登録用の URL をメールでお知らせしますので、下記の期間中に登録を完了してください

登録期間：9月17日(金)～30日(木) (厳守)

【PowerPoint2013 で作成する場合】

優秀発表賞にエントリーする場合は**ナレーション付き動画ファイル**を以下の方法で作成してください

※エントリーしない場合の**スライド説明文付き PDF ファイル**は、PowerPoint2019 と同様の方法で作成可能です

ナレーション付き動画ファイルの作成方法

1. PowerPoint で発表原稿を作成します

- * 発表（スライドショー）時間が**9分以内（8分59秒まで）**、動画ファイルの容量が**1GB以内**に収まるように、スライド枚数やナレーション時間を調整してください
- * アニメーションの使用はできるだけ控えてください

2. ナレーションを録音します

(1) 1. で作成した PowerPoint ファイルを開きます

(2) 画面上部の「スライドショー」をクリックします

(3) 「スライドショーの記録」をクリックします

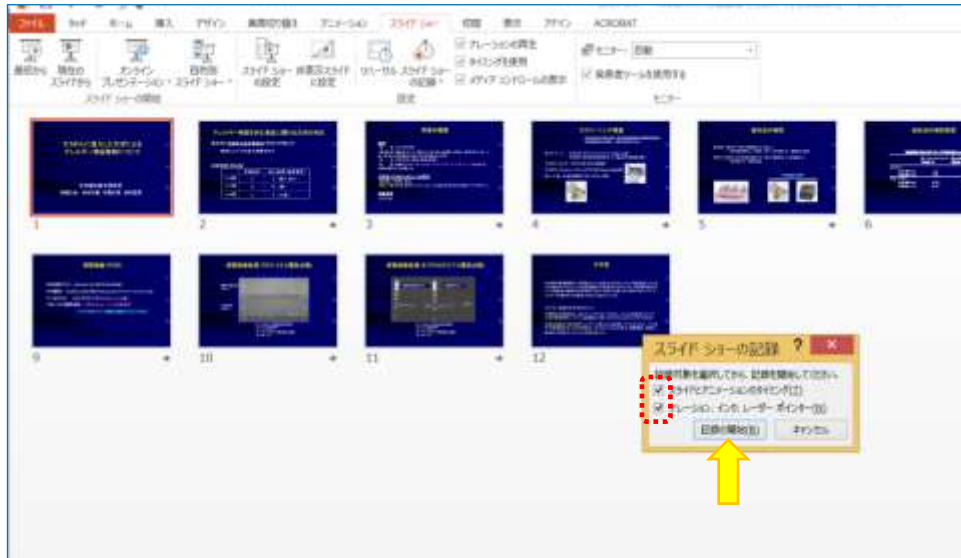
* 右の「ナレーションの再生、タイミングを使用、メディアコントロールの表示」の全てにチェックが入っていることを確認します



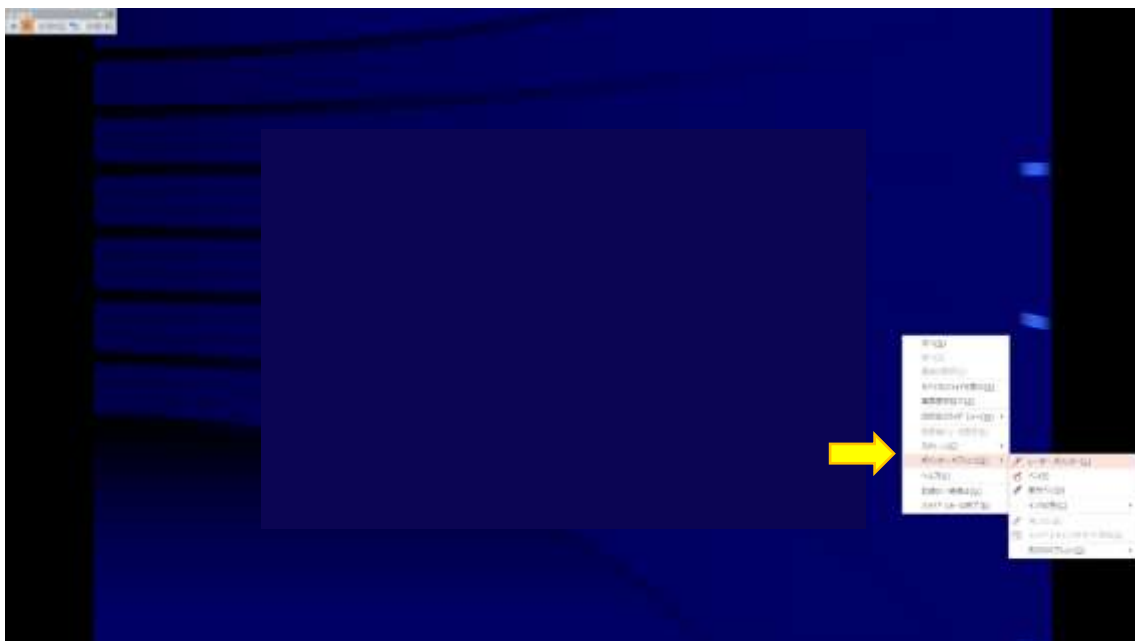
(4) 「先頭から録音を開始」を選択します

(5) 「スライドショーの記録」で、「スライドとアニメーションのタイミング、ナレーション、インク、ポインター」にチェックが入っていることを確認します

(6) 「記録の開始」をクリックして録音を始めます



* "レーザーポインター"を表示させるには、画面上で右クリックし、「ポインターオプション」⇒「レーザーポインター」の順にクリックします



- (7) 最後のスライドが終了すると、スライド一覧画面に戻ります
- (8) 各スライドの右下に録音時間が表示されていることを確認します



* 録音をやり直したいスライドがあった場合

- ① スライドをクリックして選択し、画面上部の「スライドショーの記録」をクリック
- ② 「現在のスライドから録音を開始」をクリック
- ③ 再録音します

(9) 作成した PowerPoint ファイルを保存します

3. 動画ファイルを作成します

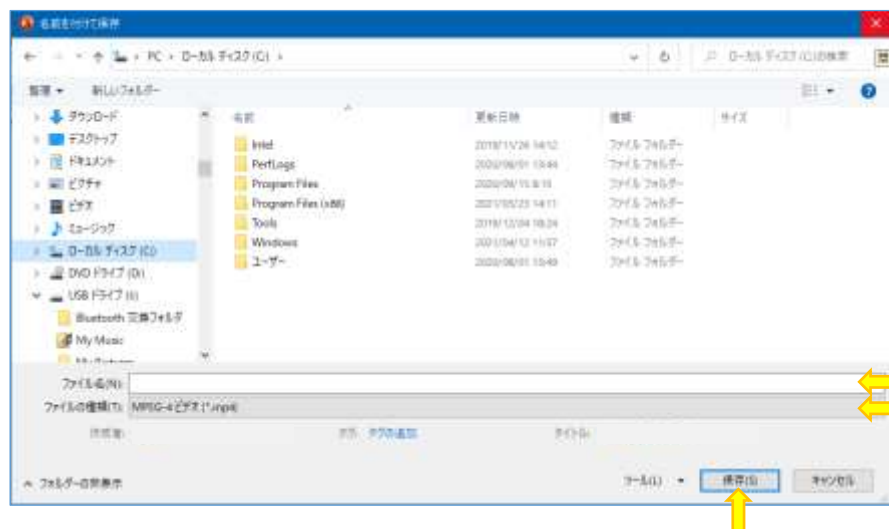
- (1) 2. で作成したファイルを開きます
- (2) 画面上部の「ファイル」をクリックします
- (3) 「エクスポート」⇒「ビデオの作成」の順にクリックします
- (4) ファイルサイズは「インターネット品質」を選択します
- (5) 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」が選択されていることを確認します
- (6) 「ビデオの作成」をクリックします



(7) ファイル名を「演題番号_発表者氏名」として入力し、ファイルの種類で「MPEG-4 ビデオ(*.mp4)」を選択します

(8) 「保存」をクリックすると下部にバーが表示され、変換が開始されます

* 動画への変換には時間がかかります



(9) 作成された動画ファイルの再生時間が9分以内（8分59秒まで）、ファイル容量が1GB以内であることを確認します

4. 作成した動画ファイルを登録します

* 9月中旬に登録用のURLをメールでお知らせしますので、下記の期間中に登録を完了してください

登録期間：9月17日（金）～30日（木）（厳守）